

# 河合石灰工業株式会社

岐阜県大垣市



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 自然の恩恵「石灰」を通じて、幅広いフィールドで産業をサポートしながら美しい未来の環境づくりに貢献

- 高品質な地元石灰石を利用した産業・生活を支える石灰製品から、新素材で電子部品分野にも進出
- 焼成技術・水熱合成技術をコアに新素材を開発・製品化し、エレクトロニクス分野に進出
- 社員の意識改革・技能取得に積極的に取り組むとともに、地域と共に人づくり活動に参画

### 企業基本情報

所在地	岐阜県大垣市赤坂町 2093 番地
電話/FAX	0584-71-1121/0584-71-1361
URL	<a href="http://www.kawai-lime.co.jp">http://www.kawai-lime.co.jp</a>
代表者	代表取締役社長 河合 進一
設立	1885年
資本金	10,000万円
従業員数	250人



### 会社概要

1885年に石灰製造業として創業、石灰石の採掘・選鉱、焼成、加工等を本業とし、製鉄、化学、建材、公害防止、土壌改良等多様な製品・資材を長年安定供給している。近年、石灰製品の製造技術をベースとした新材料及びナノ無機材料開発を積極的に展開し、樹脂やゴムの補強材、難燃剤等として環境にも優しいアルミナ水和物フィラーを開発・製品化し、エンジニアリングプラスチック部品や電子部品のメーカーにも供給している。

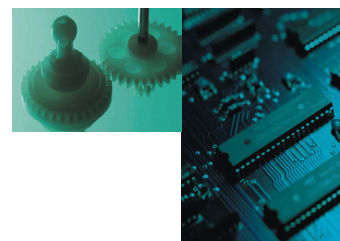


施設外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### ▶▶▶ 新機能ナノ～ミクロン無機材料で電子部品分野に進出

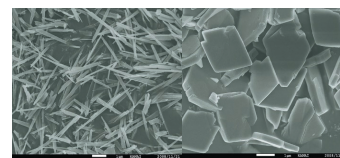
豊富な埋蔵量と高品質を誇る地元大垣市赤坂の石灰石を採掘、焼成、加工し、石灰製品（鉄鋼用、酸性排ガス処理用、防疫用他）として供給していたが、新素材開発に積極的にトライ。石灰をベースとした新材料や石灰製造で培った微粉末製造・水熱合成技術を活用し、プラスチックやゴムに混ぜ合わせることで強度や耐熱性を高めるフィラーと呼ばれる樹脂補強材、樹脂難燃剤等を開発。エンジニアリングプラスチック部品や電子部品メーカーに供給している。



エンブラ部品・電子基板部品

#### ▶▶▶ 新たな無機化合物の結晶制御技術を確立、多様なニーズに対応

環境負荷の少ないアルミナ水和物のベーマイト（ $AlOOH$ ）に着目し、コア技術の水熱合成と焼成技術により、岐阜県との共同研究を経て、ベーマイト結晶の形態制御技術を実現した。針状、粒状、鱗片状等の形状やサイズを自由にコントロールすることにより、多様なユーザーからの要望を可能にした。本ベーマイトは、難燃性や補強性を有しており、電子部品等の環境対応にも寄与する。また、電池材料としても注目されている。世界でも数少ない高純度ベーマイトを量産する企業の1社である。



ベーマイトの形態制御（左：針状、右：鱗片）

#### ▶▶▶ 地域との共生、地域の人づくり活動を実践

地元の小中学校の社会見学をはじめ、工業高生向けの研修、大学生の中期インターシップ等積極的に受け入れるとともに、経営者自らが岐阜大学、岐阜経済大学にて企業経営や研究開発に係わる講義を行うなど地域人づくりに取り組んでいる。また、県内での植林等を通じた森林資源の再生・保全活動や20年続く社員による自主的な地域清掃活動など地域社会に貢献する事業を継続して実施している。



地元中学生の工場見学